

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

<b>事業名</b> 一般国道55号 <small>くわのどうろ</small> 桑野道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 四国地方整備局																														
<b>起終点</b> 自：徳島県阿南市下大野町渡り上り 至：徳島県阿南市内原町桜木	<b>延長</b> 6.5km																															
<b>事業概要</b> 国道55号は、徳島県徳島市を起点として、小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る全長約200kmの主要幹線道路である。 桑野道路は、地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部として計画された事業であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、『四国8の字ネットワーク』を形成し、規格の高い信頼性のあるネットワークを延伸し、近畿圏や徳島中心部と徳島県南地域の連携強化を図るほか、さらには南海トラフ巨大地震などの災害発生時における広域交通ネットワークの役割も担うなど、徳島県南部の空白地帯の「安全」と「活力」の両面を支える必要不可欠な道路と位置づけられ、早期整備が望まれている。																																
H23年度事業化	H22年度都市計画決定 (H一年度変更)	H一年度用地着手 H一年度工事着手																														
全体事業費	340億円	事業進捗率 約1% 供用済延長 0.0km																														
計画交通量	10,700～13,100台/日																															
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"><b>B/C</b></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"><b>総費用</b></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"><b>総便益</b></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td>1.7</td> <td>(残事業)/事業全体</td> <td>267/274億円</td> <td>(残事業)/事業全体</td> <td>463/463億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>1.7</td> <td>事業費</td> <td>258/264億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>370/370億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>10/10億円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td>67/67億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>26/26億円</td> </tr> </table>	<b>B/C</b>		<b>総費用</b>		<b>総便益</b>		(事業全体)	1.7	(残事業)/事業全体	267/274億円	(残事業)/事業全体	463/463億円	(残事業)	1.7	事業費	258/264億円	走行時間短縮便益	370/370億円			維持管理費	10/10億円	走行経費減少便益	67/67億円					交通事故減少便益	26/26億円	<b>基準年</b> 平成25年
<b>B/C</b>		<b>総費用</b>		<b>総便益</b>																												
(事業全体)	1.7	(残事業)/事業全体	267/274億円	(残事業)/事業全体	463/463億円																											
(残事業)	1.7	事業費	258/264億円	走行時間短縮便益	370/370億円																											
		維持管理費	10/10億円	走行経費減少便益	67/67億円																											
				交通事故減少便益	26/26億円																											
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C= 1.2～2.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 1.5～1.9（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 1.6～1.8（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C= 1.2～2.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C= 1.6～1.9（事業費 ±10%） 事業期間：B/C= 1.6～1.9（事業期間±20%）																																
<b>事業の効果等</b> 南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が予測される地域に対して緊急輸送道路の代替機能を確保し、県南地域から近畿圏・徳島中心部へのアクセス向上による地域の産業・観光振興の支援など、多様な整備効果が期待できる。 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の交通改善が期待される ・現道等の混雑緩和による定時制の確保など路線バスの利便性向上が見込まれる ・徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる ②物流効率化の支援 ・徳島小松島港への時間短縮が見込まれる ・近畿圏や徳島中心部への地場産品の流通の利便性向上が見込まれる ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ④個性ある地域の形成 ・「広域連携推進プロジェクト」を支援（第5次阿南総合計画） ・徳島県南部地域への観光アクセス向上 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（徳島赤十字病院）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる ⑥安全な生活環境の確保 ・阿南市内の交通事故件数の減少が期待される ⑦災害への備え ・国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する ・桑野道路は国道55号とともに第一次緊急輸送道路に指定されている ・南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる																																

⑨生活環境の改善・保全

- ・NOX、SPM排出量の削減が見込まれる

⑩その他

- ・四国横断自動車道と一体的に整備することで四国8の字ネットワークを形成

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・阿南市高規格道路建設促進期成同盟会、徳島県議会四国横断自動車道建設促進議員連盟、徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟、国道55号バイパス建設促進県議会議員協議会から本事業の整備推進について、積極的な要望活動が続けられている

徳島県知事の意見：

- ・「桑野道路」の事業を継続するという「対応方針（原案）案」については、異議ありません。
- ・「桑野道路」を含む地域高規格道路「阿南安芸自動車道」は、「四国横断自動車道（阿南～鳴門間）」とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成し、平時は救急医療施設への搬送時間の短縮、「南海トラフ巨大地震」発生時は津波で寸断される一般国道55号の代替道路や緊急輸送道路となる「命の道」として、県民の安全・安心を支えるうえで必要不可欠な道路であります。
- ・また、県南部の豊かな農水産物が、都市部へ速やかに、かつ安定的に供給可能となるとともに、県南地域の美しい自然を活かした観光振興など、地域の活性化につながるものと考えています。
- ・このため、引き続き、コスト縮減を推進し、事業の着実な実施をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成23年7月 日和佐道路（阿南市福井町小野～由岐IC間：L=3.1km）開通（日和佐道路全線開通）
- ・平成24年4月 阿南安芸自動車道 福井道路 L=9.6km 事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成25年5月末で用地取得率0%、平成25年3月末で事業進捗率約1%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・平成25年度より設計協議に着手しており、早期に用地調査を行い用地買収着手を目指す。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の事業効果等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。